

サンエー・インターナショナルの新ブランドが本格デビュー

# 「ル フィル」が伝えたい本当の豊かさ

サンエー・インターナショナルは、2019年春夏に立ち上げた新ウィメンズブランド「ル フィル」の1号店をニューマン新宿店に9月8日出店した。果物など自然由来の物をシーズンテーマに据えて店舗にディスプレイし、「服との素敵な出会いの場」(黒木麻里子ディレクター)を作る。モノ作りの面では、エレガントな見た目とノンストレスな機能性を備えた「現代の大人の女性の日常に寄り添う服」をそろえることで、「女性に本当の豊かさを届けたい」と黒木ディレクターは話す。

「ル フィル」はこれまで、ポップアップストアを定期的に行ってきた。今後、都内および主要都市のファッションビルに10店前後の出店を見込む。ターゲットは同社の百貨店向けの「アドア」と同じ30代以上の女性だが、より日常性を意識。強みのコートに加え、軽衣料もそろえる。

「ル フィル」にとって店舗のコンセプト作りは、「とても大事な」と黒木ディレクター。ニューマン新宿店(3月)、玉川高島屋S.C.(5月)のポップアップでは、四季のうつろいに合わせて変わる世界観を見せた。3月はイタリアの旬のロゼワインを装飾としてピンク色の商材を打ち出し、5月は愛媛の「はるか」みかんとともに鮮やかなイエローの服を提案した。

43歳の黒木ディレクター自身、年齢を重ねた今、服に求めるのは上質できちんと感がありながら着心地のいいもの。「オンのシーンでも日常感やひとさじのモードを求める。そんな大人の女性のライフスタイルニーズを丁寧に汲み取ってきたい」。

日常生活を気遣った機能性もポイントだ。田中宏幸デザイナーは、「今の女性は服のデザインだけで買わない。だから5個、10個と買う理由を足し算することが必要」と話す。天然素材と機能素材の双方を柔軟に取り入れ、「本当にウェアラブルな服」に仕上げている。

19年春夏のコレクションでは接触冷感コットンのカットソー、ポーチに入れて持ち運べるセットアップ、英「トーマスメイソン」の生地を使用したシャツドレスなどをそろえた。19-20年秋冬も、ブルオーバーシャツ(2万1000円)は帝人フロンティアの「ソロテックス」でシワの悩みを解消。カシミア100%のコートを10万円以下としたのは「多くの女性に手



「ル フィル」の2019-20年秋冬コレクション。百貨店向けの「アドア」と同様コートを中心に、よりディレクターズを意識したアイテムもそろえる。鮮やかなカラーのアイテムは、フルーツやハーブなど自然由来の商材とともに打ち出す

にとってほしい」(黒木ディレクター)との思いからだ。

「ル フィル」の五感で感じる店舗体験を通じて出会うことができるのは、日常とビジネスの垣根をしなやかに乗り越え、あらゆるシーンに寄り添う服。「私たちが「ル フィル」の服を通じて伝えたい願いは一つ。女性の生活を、もっと豊かにしたいということ」。



田中宏幸/「ル フィル」デザイナー

PROFILE: 1978年大阪生まれ。2003年サンエー・インターナショナル入社。「アドア」立ち上げの05年からブランドの成長に貢献。18年サンエー・インターナショナル 株式会社員外、TSIホールディングス特別賞。19年より現職

黒木麻里子/「ル フィル」ディレクター

PROFILE: 1976年東京生まれ。大手アパレルMD、セレクトショップバイヤー、中国向けブランドのディレクションなどを経て2016年サンエー・インターナショナル社「アドア」のコンセプトディレクションに従事し、19年より現職

## ニューマン新宿の1号店は「四季とともに変わる店」

「ル フィル」が8日にニューマン新宿店にオープンした店舗は、これまでのポップアップストアのように「四季とともに変わる店」(黒木ディレクター)を商材と内装一体で表現する。これを皮切りに、全国の高感度ファッションビルへ進出するが、「世界観をしっかりと出せる場を選ぶ」ため出店は焦らない。また、29日まで日本橋高島屋S.C.でポップアップストアを開催中。グリーンをテーマカラーに鉢植えのハーブを設置し、購入者にオリジナルのアロマミストも配布する。

## 自然の生命力とモダンな佇まい

「ル フィル」は8月28日、プレスおよび関係者を招いたローンチイベントを東京都庭園美術館で開催し、2019-20年秋冬の新作をショー形式でプレゼンテーションした。

ショーが行われたのは緑に囲まれた中庭の一角で、モダンな空間と豊かな自然という、異なる空気が共存する場所。小雨が降る神秘的な雰囲気の中で始まっ

## 異なる魅力が薫る庭園ショー

たショーは、花や果実の生命力を感じさせるグリーンのコートや、トップスからボトムスにかけての、砂や石を思わせる美しいページョのグラデーションが会場を彩った。

モデルが野外と建物を行き来するたび、「ル フィル」の服もその都度異なる表情を見せた。新緑の自然の中で

## EVENT

は力強く、静謐な建物空間ではモダンで知的な魅力を一層薫らせた。ショーを終えた黒木ディレクターは、「ル フィルの女性像は、自然とともに暮らし、ミニマルで本質的なものを求める知的な好奇心にあふれている。そんな大人の女性に共感して頂けるイベントにしたかった」と語った。



ローンチイベント当日はオリジナルフレグランスのアロマミスト(左)を来場者にプレゼントした。インビデーションには天然の葉を採り、開催日が近づくにつれ変化を奏する仕様に、全て一貫したコンセプトを大切に